

# 中施策評価書

作成日 令和04年 11月 15日

中施策事業名	社会福祉推進事業	部課名	健康福祉部・地域福祉課
		作成者	近藤 有紀子
①めざすまちの姿	02 多様な主体者が連携して、将来を見据えた医療や福祉の戦略を実行しており、市民が安心している		
②大施策	市民が安心できる医療や福祉の戦略を多様な主体者が連携して実行されるよう整備する		
③中施策	多様な主体者が共通の目標を持ち、行動できる環境をつくる		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	多様な主体者と福祉の向上が図られている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・社会福祉の調査及び統計に関すること ・犯罪被害者に関すること ・社会福祉法人 監査に関すること ・地域福祉計画に関すること		

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
医療や福祉施設、 制度の利用者の満足度※	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	58.9	60	63	64	65	67.7
	実績値	64.7	62.5				
単位	%						
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

## ■コスト

事業実施年度		決算額		予算額	
		令和02年度	令和03年度	令和04年度	
① 総事業費(a+b)		573千円	293千円		
人件費	a 事業費合計	573千円	293千円	113千円	
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)		0千円	105千円	0千円	
③ コスト(①-②)		573千円	188千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		8円	3円		

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<b>総合評価 B</b> 地域福祉計画に関することでは、重点施策の一つで多様な主体者が連携した取組みとして、「あいさつ運動」を実施することができた。また、社会福祉法人に関することでは、定期的に社会福祉法人指導監査を実施することで、制度の適正化と多様な主体者による福祉の向上を図ることができた。
-----------------------------	--

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	地域福祉計画に関することでは、重点施策の一つの「あいさつ運動」については、より市内を広域的に、また、継続的に実施することが必要であり、社会福祉協議会とも連携し、実施に向けて調整を図る。犯罪被害者支援に関することでは、当事者団体より市内の民生児童委員協議会などの福祉団体向けに講演会等を実施してもらうことで、多様な主体者による福祉の向上を図る。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	各事務事業については、一定の効果が期待できるよう、引き続き進捗を図る。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

# 中施策評価書

作成日 令和04年 11月 15日

中施策事業名	障がい福祉推進事業	部課名	健康福祉部・地域福祉課
		作成者	近藤 有紀子
①めざすまちの姿	02 多様な主体者が連携して、将来を見据えた医療や福祉の戦略を実行しており、市民が安心している		
②大施策	市民が安心できる医療や福祉の戦略を多様な主体者が連携して実行されるよう整備する		
③中施策	多様な主体者が共通の目標を持ち、行動できる環境をつくる		
④中施策事業の対象	障害者等		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	障害福祉サービス事業者等と連携し、多様な主体と障がい福祉の向上が図られている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害者福祉計画等に関すること</li> <li>・ 障害者の就労に関すること</li> <li>・ 虐待防止に関すること</li> <li>・ 自殺予防対策に関すること</li> <li>・ 障害者差別解消法に関すること</li> <li>・ 障害者理解促進事業に関すること</li> <li>・ 障害者スポーツ振興事業に関すること</li> <li>・ 災害時要支援者に関すること</li> </ul>		

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
市内障害福祉サービス事業所の数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	27	30	31	34	42	43
	実績値	42	45				
単位	箇所						
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

## ■コスト

事業実施年度		決算額		予算額	
		令和02年度	令和03年度	令和04年度	
① 総事業費(a+b)		2,886千円	48千円		
人件費	a 事業費合計	2,886千円	48千円	1,766千円	
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)		0千円	0千円	36千円	
③ コスト(①-②)		2,886千円	48千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		42円	1円		

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>B</p> <p>障がい者相談支援事業の取り組みから、障害福祉サービス事業所における虐待予防対応策がすすんだ。また、コロナ禍において、工夫しながら障がい者団体とともにポッチャ大会も実施し、地域で多様な主体が交流する機会となった。</p> <p>自殺対策においても、コロナ禍における自殺者数動態に注視しながら、予防啓発活動をすすめた。</p>
-----------------------------	---

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	<p>重層的支援体制整備事業の実施とともに、地域での障がい者の理解促進や権利擁護支援を行う。また、市制50周年ポッチャ大会を通して、より一層、地域で多様な主体が交流する機会をつくる。</p> <p>自殺対策については、長期化するコロナ禍の影響をとらえ、効果的な予防啓発活動をする必要がある。</p>	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	<p>令和5年度は、次期障害福祉計画及び障害者福祉計画の策定年であり、これまでの障がい者福祉施策の評価や新たな地域課題を把握していく必要がある。</p>	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

# 中施策評価書

作成日 令和04年 11月 15日

中施策事業名	障がい福祉サービス事業	部課名	健康福祉部・地域福祉課
		作成者	近藤 有紀子
①めざすまちの姿	15 誰もが身近に寄り合える場所があり、地域の人と支え合いながら孤立することなく暮らすことができる		
②大施策	身近に寄り合える場所をつくり、地域で支え合える環境をつくる		
③中施策	サービスや支援を充実し、負担を軽減する		
④中施策事業の対象	障がいを持つ市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	障がいがあっても幸せを実感できる生活を送っている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種障害者手帳に関すること</li> <li>各種障害者手当に関すること</li> <li>障害福祉サービスに関すること(認定審査会、支払、支給決定等)</li> <li>地域生活支援事業に関すること(日常生活用具、移動支援、日中一時支援等)</li> <li>精神障害者の入院に関する市長同意に関すること</li> <li>補装具に関すること</li> </ul>		

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
障がい福祉サービス支給決定数(18歳以上)	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	410	440	445	450	450	455
	実績値	422	447				
単位	人						
自分の働き方に満足している障がい者の割合※	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	69.9	70.2	71.6	72.8	74	75.9
	実績値	79	71.3				
単位	%						

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

## ■コスト

事業実施年度		決算額		予算額	
		令和02年度	令和03年度	令和04年度	
① 総事業費(a+b)		1,293,365千円	1,264,167千円		
人件費	a 事業費合計	1,293,365千円	1,264,167千円	1,389,472千円	
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)		756,257千円	820,629千円	906,124千円	
③ コスト(①-②)		537,108千円	443,538千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		7,805円	6,445円		

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>A</p> <p>親及び本人の高齢化やサービスの多様化等により、障害福祉サービスの利用は、利用者数、1人当たりの利用量ともに増加している。特に利用ニーズが高いのは、就労系通所サービスとグループホームであり、それらの市内事業所開設がすすんだことにより、障がい者の自立生活の基盤づくりがすすんだ。</p>
-----------------------------	---

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	就労系通所サービスとグループホームは、今後もニーズはさらに増大していくと予想される。それぞれのサービス提供の適正化管理をしつつ、障がい者の自立生活の基盤づくりをすすめていく。また、親の高齢化や複雑な問題を抱える家庭への対応策として、地域生活支援拠点の充足が必要。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	就労系通所サービスとグループホーム以外にも、多様なサービスの地域での充足が必要。また、サービスではない、地域で障がい者を支えていく仕組みづくりが必要。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

# 中施策評価書

作成日 令和04年 5月 11日

中施策事業名	障がい者相談支援事業	部課名	健康福祉部・地域福祉課
		作成者	近藤 有紀子
①めざすまちの姿	15 誰もが身近に寄り合える場所があり、地域の人と支え合いながら孤立することなく暮らすことができている		
②大施策	身近に寄り合える場所をつくり、地域で支え合える環境をつくる		
③中施策	サービスや支援を充実し、負担を軽減する		
④中施策事業の対象	障がいを持つ市民及び家族		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	相談支援を通して課題解決に向けて自立的に行動をとることができている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・精神障害福祉関係会議に関すること ・相談支援事業に関すること ・自立支援協議会に関すること ・事業所指定に関すること		

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
障がい者基幹相談 支援事業委託の相 談件数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	9,100	9,100	9,100	9,100	9,150	9,200
	実績値	8,700	8,900				
単位	件						
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

## ■コスト

事業実施年度		決算額		予算額	
		令和02年度	令和03年度	令和04年度	
① 総事業費(a+b)		22,165千円	22,195千円		
a	事業費合計	22,165千円	22,195千円	22,220千円	
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)		6,108千円	6,108千円	9,306千円	
③ コスト(①-②)		16,057千円	16,087千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		233円	234円		

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>A</p> <p>障がい者基幹相談支援センターの相談は、新規ケースも多く、複雑かつ複合的な課題をもつ家庭の相談が増加してきている。関係機関との連携による支援にとりくんでいるものの、1件あたりの対応時間が増大する傾向にある。</p> <p>コロナ禍による影響と考えられるメンタル的な不安に関する相談も増加傾向であり、その対応をすることで、障がい者やその家族の不安軽減にもつながった。</p> <p>親亡き後の障がい者が、地域で生活するために、緊急時の相談場所を基幹相談支援センターを指定することで、障がい者の保護者の安心確保につながった。</p>
-----------------------------	---

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	<p>複雑かつ複合的な課題をもつ家庭の相談に対して、重層的支援体制整備事業とともに取り組むことで、少しでも根本的な課題解決につなげることが必要。</p> <p>また、自立支援協議会は、新たに災害時対策等についても検討をすすめていく。さらにグループホームが新設される中で、緊急受け入れや試し利用といった地域生活支援拠点機能も担えるか、協議を行う。</p>	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	<p>令和5年度策定となる次期障害福祉計画及び障害者福祉計画に、今までの相談支援体制の評価と今後必要とされる体制を反映させていく必要がある。</p>	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

# 中施策評価書

作成日 令和04年 6月 9日

中施策事業名	社会福祉協議会関連事業	部課名	健康福祉部・地域福祉課
		作成者	近藤 有紀子
①めざすまちの姿	15 誰もが身近に寄り合える場所があり、地域の人と支え合いながら孤立することなく暮らすことができています		
②大施策	身近に寄り合える場所をつくり、地域で支え合える環境をつくる		
③中施策	多様な人が交流する機会を充実させ、地域での人と人とのつながりをつくる		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	地域福祉の向上を図ることで、住み慣れた地域で安心して暮らすことができています		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・社会福祉協議会及びその他福祉団体に関すること ・総合福祉会館の管理に関すること		

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
ボランティア団体としての活動総人数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100
	実績値	1,990	1,451				
単位	人						
福祉会館の利用者数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	25,000	25,000	25,000	25,000	26,500	26,500
	実績値	15,944	17,500				
単位	人						

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

## ■コスト

事業実施年度		決算額		予算額	
		令和02年度	令和03年度	令和04年度	
① 総事業費(a+b)		70,036千円	69,479千円		
人件費	a 事業費合計	70,036千円	69,479千円	70,067千円	
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)		0千円	0千円	0千円	
③ コスト(①-②)		70,036千円	69,479千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		1,018円	1,010円		

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

## ■総合評価

<p>上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析</p>	<p>総合評価 B</p> <p>社会福祉協議会及びその他福祉団体に関することでは、各団体への補助金等の活用により、地域住民の安心な暮らしのために地域福祉の向上を図ることができた。また、ボランティア団体としての活動総人数や福祉会館の利用者数は、コロナによる影響もあり目標値には達していない。</p>
------------------------------------	---

## ■改善案の検討

<p>現年度に実施可能な改善・調整事項</p>	<p>多様な人が交流する機会を充実させ、地域での人と人とのつながりをつくるために社会福祉協議会により、サロン事業や地域と連携した事業の推進を図る。</p>	
<p>翌年度以降に実施可能な改善・調整事項</p>	<p>各事務事業については、一定の成果を示せるよう、引き続き進捗を図る。</p>	
<p>今後、改善・拡大する事業</p>	<p>事業名</p>	<p>内容、理由、時期等</p>
<p>今後、実施すべき新規事業</p>	<p>事業名(仮称)</p>	<p>内容、理由、時期等</p>
<p>今後、休廃止する事業</p>	<p>事業名</p>	<p>内容、理由、時期等</p>

# 中施策評価書

作成日 令和04年 6月 9日

中施策事業名	民生委員、児童委員関係事務	部課名	健康福祉部・地域福祉課
		作成者	近藤 有紀子
①めざすまちの姿	15 誰もが身近に寄り合える場所があり、地域の人と支え合いながら孤立することなく暮らすことができています		
②大施策	身近に寄り合える場所をつくり、地域で支え合える環境をつくる		
③中施策	多様な人が交流する機会を充実させ、地域での人と人とのつながりをつくる		
④中施策事業の対象	市民及び民生児童委員		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	民生委員が住民の身近な相談先となることで、市民が安心して暮らすことができています		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 民生児童委員に関すること ・ 民協福祉広報部会に関すること		

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
地域から孤立していないと思ってい る市民の割合※	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	83.8	84.5	82	84	86	87
	実績値	79.8	79.8				
単位	%						
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

## ■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費(a+b)			8,847千円	9,823千円	
人 件 費	a 事業費合計		8,847千円	9,823千円	10,868千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)			5,795千円	5,893千円	5,978千円
③ コスト(①-②)			3,052千円	3,930千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			44円	57円	

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>総合評価 B</p> <p>民生児童委員に関することでは、令和3年度末には欠員もなくなり、各自の活動により、地域でのつながりづくりの役目を担うことができた。民生児童委員に関する各事業では、コロナのため研修事業では実施できなかったものもあるが、活動継続のための工夫をし、定例会等は全て実施することができた。</p>
-----------------------------	---

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	今年度は民生児童委員の一斉改選が予定されているが、地域でのつながりづくりや住民の身近な相談先としての役割りを担うため、自治会等との連絡調整を図ることで、欠員を出さずに改選を実施する。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	民生児童委員の役割りを安定的に行っていくために、欠員を出さず引き続き事業の進捗を図る。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

# 中施策評価書

作成日 令和04年 4月 14日

中施策事業名	社会福祉団体事務	部課名	健康福祉部・地域福祉課
		作成者	近藤 有紀子
①めざすまちの姿	15 誰もが身近に寄り合える場所があり、地域の人と支え合いながら孤立することなく暮らすことができています		
②大施策	身近に寄り合える場所をつくり、地域で支え合える環境をつくる		
③中施策	多様な人が交流する機会を充実させ、地域での人と人とのつながりをつくる		
④中施策事業の対象	市民及び社会福祉団体		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	社会福祉団体の活動を支援することで、地域福祉が向上し、暮らしやすさが向上している		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・日本赤十字社に関すること ・保護司会に関すること(社会を明るくする運動)		

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
社会を明るくする運動の啓発のための市民動員	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	600	600	600	600	600	600
	実績値	0	700				
単位	人						
社会を明るくする運動記念講演会参加者	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	100	100	100	100	100	100
	実績値	0	124				
単位	人						

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

## ■コスト

事業実施年度		決算額		予算額	
		令和02年度	令和03年度	令和04年度	
① 総事業費(a+b)		766千円	416千円		
人件費	a 事業費合計	766千円	416千円	826千円	
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)		0千円	0千円	0千円	
③ コスト(①-②)		766千円	416千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		11円	6円		

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<b>総合評価 B</b> 日本赤十字社や保護司会に関することでは、事務局として、各社会福祉団体の活動を支援することで、地域福祉の向上を図ることができた。 コロナ禍のため参加者は例年より減少したが、社会を明るくする運動に関する各事業を実施することができた。
-----------------------------	--

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	昨年度はコロナのため実施できなかった日本赤十字社の街頭キャンペーンを実施することで、市民への理解や周知を図る。保護司会関連では、市内でのサポートセンターの開所により、再犯防止施策の推進を図る。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	各福祉団体の安定的な活動のために、引き続き進捗を図る。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

# 中施策評価書

作成日 令和04年 11月 15日

中施策事業名	障がい福祉団体事務	部課名	健康福祉部・地域福祉課
		作成者	近藤 有紀子
①めざすまちの姿	15 誰もが身近に寄り合える場所があり、地域の人と支え合いながら孤立することなく暮らすことができています		
②大施策	身近に寄り合える場所をつくり、地域で支え合える環境をつくる		
③中施策	多様な人が交流する機会を充実させ、地域での人と人とのつながりをつくる		
④中施策事業の対象	市民及び障がい福祉団体		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	障がい福祉団体の活動を支援することで、障がい者及び家族が活発に交流することができている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・各種団体に関する補助金・委託に関すること ・民協障がい者福祉部会に関すること		

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
豊明市心身障害者 児福祉連合会の会 員数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	230	230	235	235	235	235
	実績値	182	185				
単位	人						
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

## ■コスト

事業実施年度		決算額		予算額	
		令和02年度	令和03年度	令和04年度	
① 総事業費(a+b)		10,559千円	6,324千円		
人 件 費	a 事業費合計	10,559千円	6,324千円	7,118千円	
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)		0千円	0千円	0千円	
③ コスト(①-②)		10,559千円	6,324千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		153円	92円		

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<b>B</b> コロナ禍のため、団体活動の実施が困難な状況となり、実績減となった。その中でも、団体会員の支えあいを維持するため、工夫してポッチャ交流会等の取り組みを行った。また、研修会等をオンラインとのハイブリット形式を取り入れる等、工夫した。 団体によっては、会員の高齢化や役員のなり手不足で、存続が難しくなっている団体もある。
-----------------------------	--

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	団体支援のあり方や長引くコロナ禍の中でも活動を継続させる工夫が必要。研修会等をオンラインとのハイブリット形式を取り入れる等、すでに実施している工夫を継続していく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	団体活動と地域との交流や障害理解につながるような活動支援を検討していく必要がある。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

# 中施策評価書

作成日 令和04年 7月 13日

中施策事業名	生活困窮者等扶助事業	部課名	健康福祉部・地域福祉課
		作成者	近藤 有紀子
①めざすまちの姿	16 支援が必要な人の家族の負担が軽減され、日常生活で困ってない		
②大施策	支援が必要な家族の負担を軽減する		
③中施策	家族を支援するサービスを充実させる		
④中施策事業の対象	経済面で困窮したり、障がいや疾患により支援が必要な状態になっている市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	相談事業を通して適切な情報提供を受けることができ、就職や支援につなげることで安心して生活できている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活困窮者自立促進支援事業に関すること</li> <li>生活困窮者学習支援事業に関すること</li> <li>子どもの貧困対策事業に関すること</li> <li>包括的就労推進事業</li> <li>ひきこもり対策事業に関すること</li> </ul>		

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
就労相談による就職実績の向上（就労相談者÷実就労者数）	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	60	70	70	70	70	70
	実績値	23.3	45				
単位	%						
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

## ■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費(a+b)			39,607千円	39,619千円	
人件費	a 事業費合計		39,607千円	39,619千円	82,899千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)			10,880千円	7,504千円	12,429千円
③ コスト(①-②)			28,727千円	32,115千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			417円	467円	

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

## ■総合評価

<p>上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析</p>	<p><b>B</b></p> <p>不就労による困窮や社会的孤立を防ぐために就労や社会参加に重点を置いた事業を実施し、評価指標達成に向けて事業を進めていく。外国人市民に対する支援として自立相談センター「よりそい」にて外国人市民の背景に応じてきめ細やかな生活相談を継続して行っていった。また、緊急生活支援事業やフードギフト時に相談先の紹介を行い、それぞれの市民に応じた適切な支援先につないでいく仕組みを行った。</p> <p>コストについては前年度と変わらないが相談件数は増加し、必要な支援へつなぐことができているため、コストに対する事業目標は達成できていると考える。</p>
------------------------------------	--

## ■改善案の検討

<p>現年度に実施可能な改善・調整事項</p>	<p>令和4年度から就労や社会参加に重点をおき、働く意思を持ちながら働くことのできない人に対し、誰もが働くことのできる対象者に合わせた自立に向けた支援や多様な環境整備を行う包括的就労推進事業を開始することとなり、予算が必要となった。また、緊急生活支援事業「まごころサポート便」の対象者に対し、生活の見守りや相談窓口等を案内するため、事後訪問を行うこととなり、予算の拡大を行った。今後も支援が必要な人が必要な支援につながるような多様な環境整備を行っていく。</p>	
<p>翌年度以降に実施可能な改善・調整事項</p>	<p>各事業についてより事業が定着できるように、引き続き連携しながら事業を行っていく。また、国や県の動向も確認しながら、多様なニーズに対応できるような環境づくり、主体者の連携システムを構築していく。</p>	
<p>今後、改善・拡大する事業</p>	<p>事業名</p>	<p>内容、理由、時期等</p>
<p>今後、実施すべき新規事業</p>	<p>事業名(仮称) 包括的就労推進事業</p>	<p>内容、理由、時期等 働く意思をもちながら働くことのできない人に対し、誰もが働くことのできる多様な環境整備を行うことで、不就労による困窮や社会的孤立を防ぎ、自立に向けて支援を行っていく。</p>
<p>今後、休廃止する事業</p>	<p>事業名</p>	<p>内容、理由、時期等</p>

# 中施策評価書

作成日 令和04年 7月 13日

中施策事業名	生活保護扶助事業	部課名	健康福祉部・地域福祉課
		作成者	近藤 有紀子
①めざすまちの姿	16 支援が必要な人の家族の負担が軽減され、日常生活で困ってない		
②大施策	支援が必要な家族の負担を軽減する		
③中施策	家族を支援するサービスを充実させる		
④中施策事業の対象	生活保護法による被保護家庭		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	生活保護法による扶助の給付を行うことで、最低限度の生活を保障する		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・生活保護の相談に関すること ・保護費支給に関すること ・医療券、介護券の発行 ・点検に関すること ・資産、年金、収入等の調査事務に関すること ・就労支援事業 に関すること		

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
後発薬品使用率	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	75	75	75	75	75	75
	実績値	29	26				
単位	%						
被保護者数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	380	380	380	380	380	380
	実績値	304	309				
単位	人						

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

## ■コスト

事業実施年度		決算額		予算額	
		令和02年度	令和03年度	令和04年度	
① 総事業費(a+b)		612,151千円	1,174,706千円		
人件費	a 事業費合計	612,151千円	1,174,706千円	572,774千円	
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)		457,172千円	493,036千円	443,353千円	
③ コスト(①-②)		154,979千円	681,670千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		2,252円	9,906円		

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p><b>B</b></p> <p>新型コロナウイルス感染症感染拡大により生活保護相談は増加したが、生活困窮者に対する施策の活用によって生活保護受給者数は微増となった。</p> <p>生活保護受給者の医療費については、R2年度から増額しているため、引き続き後発医薬品使用を推奨します。</p> <p>R3年度に生活困窮者支援施策の給付金事業が複数実施され、生活困窮者への支援がなされたため決算額は増加した。</p>
-----------------------------	--

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	包括就労推進事業が開始されるため、生活保護受給者についても積極的な就労支援を実施していく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	生活保護受給者に対する後発医薬品使用の啓発は、引き続き推進していく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

# 中施策評価書

作成日 令和04年 6月 29日

中施策事業名	重層的支援体制整備事業	部課名	健康福祉部・地域福祉課
		作成者	
①めざすまちの姿	16 支援が必要な人の家族の負担が軽減され、日常生活で困ってない		
②大施策	支援が必要な家族の負担を軽減する		
③中施策	多様な主体者が連携し、家族を支える環境をつくる		
④中施策事業の対象			
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)			
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)			

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
事業実施年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
単位	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
事業実施年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
単位	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

## ■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和2年度	令和3年度	令和4年度
① 総事業費(a+b)			0千円	0千円	
人件費	a 事業費合計		0千円	0千円	0千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			0千円	0千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			0円	0円	

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	
-----------------------------	--

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項		
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項		
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

# 中施策評価書

作成日 令和04年 5月 11日

中施策事業名	児童障がい児サービス給付事業	部課名	健康福祉部・地域福祉課
		作成者	近藤 有紀子
①めざすまちの姿	30 子どもの個性や感性を尊重し、伸ばしている		
②大施策	子どもの個性や感性を尊重し、伸ばす環境をつくる		
③中施策	好きなことができるように周りの大人の理解を深め、支援できるようにする		
④中施策事業の対象	障がい児及びその家族、関係者等		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	障がいに応じた療育支援や居場所を利用することで発達を促し、個性を伸ばすことができる。		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 児童障がい児サービス事業		

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
障がい児福祉サービス事業利用件数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	150	150	150	420	430	430
	実績値	369	406				
単位	件						
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

## ■コスト

事業実施年度		決算額		予算額	
		令和02年度	令和03年度	令和04年度	
① 総事業費(a+b)		350,436千円	369,119千円		
人件費	a 事業費合計	350,436千円	369,119千円	396,575千円	
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)		288,154千円	291,036千円	297,000千円	
③ コスト(①-②)		62,282千円	78,083千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		905円	1,135円		

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

## ■総合評価

<p>上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析</p>	<p>A</p> <p>年々、障害児通所サービスの利用ニーズは増大している。市内事業所も年々増加しており、利用ニーズの受け皿となっているものの、潜在的なニーズは高く、充足には至っていない。障害児福祉計画に基づく、市内事業所数の充足とそのサービスの適正利用がすすむことが必要。また、児童発達支援センター開設準備を滞りなくすすめた。</p>
------------------------------------	--

## ■改善案の検討

<p>現年度に実施可能な改善・調整事項</p>	<p>児童発達支援センター開設により、障害児福祉施策の充実を図るとともに、そこを中心とした関係機関の連携とサービスの適正利用がすすむ取り組みが必要。</p>	
<p>翌年度以降に実施可能な改善・調整事項</p>	<p>令和5年度に策定となる障害児福祉計画において、今までの障がい児福祉施策の評価及び今後必要とされる対策を反映させていくことが必要。</p>	
<p>今後、改善・拡大する事業</p>	<p>事業名</p>	<p>内容、理由、時期等</p>
<p>今後、実施すべき新規事業</p>	<p>事業名(仮称)</p>	<p>内容、理由、時期等</p>
<p>今後、休廃止する事業</p>	<p>事業名</p>	<p>内容、理由、時期等</p>